

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	23-403
研究の名称	ALK 陽性組織球症の臨床病理学的所見を検討する後ろ向き研究
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年12月31日
研究の対象	2000年1月から2023年8月までに【組織球性疾患】と診断された患者さん
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>ALK 陽性組織球症の臨床病理学的所見の解明を目的としています。</p> <p>ALK とは、未分化リンパ腫キナーゼ (anaplastic lymphoma kinase) の略称で、細胞の分裂・増殖に関わる遺伝子です。がんにおける ALK とは ALK 融合遺伝子のことで、何らかの原因により ALK 遺伝子と他の遺伝子が融合してできる特殊な遺伝子のことであり、非小細胞肺癌においてがん細胞の増殖にかかわる遺伝子として発見されました。通常においては、スイッチの ON、OFF がうまく制御され、細胞が異常に増殖することはありません。</p> <p>ALK 陽性組織球症とは、ALK 遺伝子の転座と ALK 阻害剤が有効であるという特徴を有する幅広い臨床病理学的所見を呈する疾患です。WHO 第 5 版では、高度の細胞異型を欠く組織球系腫瘍で、免疫染色での ALK 陽性所見 (ALK 遺伝子の再構成による) を特徴とする疾患と定義されています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>生検検体や手術検体で組織球性疾患 (若年性黄色肉芽腫、エルドハイム・チェスター病、Rosai-Dorfman 病、組織球肉腫) と診断された症例の残余検体を利用して、ALK 陽性組織球症の臨床病理学的所見の検討を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：生検や手術で摘出した組織を使用</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、病変部位、既往歴、予後等を収集</p>

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年12月31日までに電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
研究組織	<p>愛知医科大学医学部 病理診断学講座 研究責任者名 高橋恵美子</p> <p>三重大学医学部附属病院 病理診断科 研究責任者名 今井裕</p> <p>堺市立総合医療センター 病理診断科 研究責任者名 安原裕美子</p>
問い合わせ先	<p><当院の連絡先></p> <p>堺市立総合医療センター</p> <p>研究責任者：安原裕美子</p> <p>所属：病理診断科</p> <p>〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町 1-1-1</p> <p>電話 072-272-1199(代表)</p> <p><研究代表者></p> <p>愛知医科大学医学部 病理診断学講座</p> <p>担当者：(職名) 准教授 (氏名) 高橋恵美子</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 37424)</p> <p>受付日時：火曜日、水曜日、金曜日の 13-17 時</p>

作成日：西暦 2023年10月26日 (1版)